



日本聖公会東京教区 聖アンデレ教会

主教 フランシスコ・ザビエル 高橋宏幸

牧師 司祭 ステパノ 卓志雄

主日勤務 執事 クララ 佐久間恵子

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-18

電話 03-3431-2822 FAX 03-3434-5698 電話礼拝 03-3431-0250

E-mail: st-andrew.tko@nssk.org HP: www.st-andrew-tokyo.com

聖霊降臨後第20主日(緑) 2025年10月26日

礼拝案内

✠ 午前7時30分 聖餐式

(午前7時25分 礼拝奉仕者の祈りの集い)

司式：司祭 卓志雄

説教：執事 佐久間恵子

聖歌 354 323 397

✠ 午前9時15分

こどもとともにささげる礼拝

司式・お話：執事 佐久間恵子

聖歌 354 323 397

✠ 午前10時30分 聖餐式

(午前10時10分 礼拝奉仕者祈りの集い)

司式：司祭 卓志雄

入堂聖歌 354

参入 1頁 (162頁)

清めの祈り 1頁 (162頁)

キリエ 3頁 (163頁)

大栄光の歌 4頁 (164頁)

特祷 (特定25・「社会事業の日」の特祷)

み言葉

第一朗読 シラ書 35章12-17節

詩編 第84編1-7節

第二朗読 テモテへの手紙Ⅱ 4章6-8,16-18節

福音書前聖歌 454

福音書 ルカによる福音書 18章9-14節

説教： 執事 佐久間恵子

ニケヤ信経 9頁 (166頁)

代祷 (週報2面) 12頁 (168頁)

聖餐

平和の挨拶 15頁 (171頁)

奉献聖歌 323

奉献 15頁 (172頁)

陪餐 24頁 (180頁)

陪餐聖歌 264

感謝 28頁 (182頁)

祝福 28頁 (183頁)

派遣

退堂聖歌 397

✠ 午後5時 夕の礼拝

司式： 執事 佐久間恵子 聖歌 489

詩 103 シラ 18:19-33 ルカ 10:25-37

「1分典礼(礼拝Q&A)⑮【バナー】

Q：バナーはなぜあるのですか？バナーの用いられる時は？バナーのあるプロセッションとないプロセッションのちがいはなんですか？バナーは、いつから使うようになったのですか？各教会にあるのは、どうしてですか？

A：キリスト教会で用いられる「バナー (banner：旗・のぼり・幕)」には、深い象徴的・礼拝的な意味があります。それは単なる装飾ではなく、教会の信仰告白や共同体のアイデンティティを「目に見える形」で表すものです。プロセッション (行列) の際に掲げられるバナーは、単なる行進を超えて、神の導きのもとに進む「信仰の旅路」を象徴します。バナーのあるプロセッションはより礼拝的で象徴性が豊かになり、教会共同体としての結束と使命を示す場ともなります。

バナーは、主に祝祭日や教会の記念日、大礼拝、按手式、教区大会など、喜びと感謝をもって神を賛美する時に用いられます。その起源は中世ヨーロッパの教会行列に遡り、聖人や守護聖人を象徴する旗として発展しました。今日、多くの教会にバナーがあるのは、それぞれの教会が固有の信仰の歴史と使命を表し、礼拝や行事の中で「神に仕える共同体」であることを示すためです。

聖アンデレ教会では、使徒聖アンデレが描かれたバナーを使用しています。2001年4月の教会委員会で、従来のバナーが著しく傷んでいたため、教区フェスティバルに向けて新調することが決定されました。同年5月、当時の牧師であった竹内謙太郎先生が英国リッケル社に問い合わせを行い、7月に図案・見積書・生地見本が届きました。検討の結果、使徒聖アンデレの顔をできるだけ若々しく表現してほしいという要望を添えて発注しました。なお、戦前には二基のバナーがありましたが、残念ながら戦災により焼失しました。

本日の代祷 <敬称略>

一同着席する。

執事は次のように言う。司祭または会衆の代表者が言ってもよい。

執事 ^{すく}救い主イエス・キリストのみ^{ことば}言葉と^{わざ}み業に^{たよ}頼り、^{ぜんこうかい}全公会のため、また^{せかい}世界のために^{いの}祈りましょう

※（ ）内の斜体は音読しなくてもよい。

<わたしたち教会・全公会のため>

代祷者 ^{かみ}神よ、^{しゅ}主の^{こうかい}公会、ことに

[^{たけしろう}聖アンデレ教会（ステパノ ^{たくしろう}卓志雄司祭、
^{さくまけいこ}クララ佐久間恵子執事、トマス^{ひだかけいすけ}日高馨輔執事）]

わたしたち教会の宣教・奉仕の働き、
教会に関わる諸団体、

[^{たかはしひろゆき}東京教区（フランシスコ・ザビエル高橋宏幸主教）]

聖アンデレ主教座聖堂、教区事務所、
聖オルバン教会（マイケル・D・モイヤー司祭）、
清瀬聖母教会、
全生園聖フランシスコ聖エリザベツ礼拝堂、
環状教会グループ（協議会、牧師協議会）

[^{はるなしんせいかい}東日本宣教協働区（北海道・東北・北関東・東京教区）]

日本聖公会社会事業の日にあたり、^{くさつ}榛名新生会、
^{くりうらくせんえん}草津・栗生楽泉園、さわらび医療福祉センター、
浦和諸聖徒教会（^{しよせいと}諸聖徒日・11月1日）

[^{うえはらえいしろう}日本聖公会（首座主教 ^{だびで}ダビデ上原榮正主教）]

社会事業の日・すべての社会事業

[^{キャリー・スコフィールド＝ブロードベント}アメリカ聖公会メリーランド教区（キャリー・
スコフィールド＝ブロードベント主教）]

リンシウム 聖クリストファー教会
ロシアン 聖ヤコブ教会

[エルサレムおよび中東聖公会

（^{ホサム・ナウム}ホサム・ナウム大主教）]

ヨルダン ジョフィア・リハビリテーション・センター

[全世界の聖公会]

ウェールズ聖公会

[日本キリスト教協議会（NCC）の働き]

早稲田奉仕園

日本盲人キリスト教伝道協議会

を^{つよ}強めて、^こみ子のみ^{わざ}業を行わせてください。
すべての^{せいしよく}聖職と^{しんと}信徒、ことに私たちの主教

フランシスコ・ザビエル

を^{みちび}導き、^なみ名を呼ぶ者を^{しゅ}主の^{しんり}真理と^{あい}愛のうちに
一致させ^{いっ}日々^ひ主の^{えいこう}栄光をこの世に^よ現^{あらわ}す者とならせ
てください

会衆 主よ、お聞きください

<平和と正義の実現のため>

代祷者 ^{かみ}神よ、すべての^{くに}国の^{ひと}人びと、ことに中東・
ウクライナなどの戦争・紛争の終結、世界の平和
と和解の実現のため、日本国と世界各国・地域の
人びと、ことにそれらの指導的立場の人びと
に^{ちえ}知恵を与えて^{あた}正義と^{せいぎ}平和の道に^{へいわ}導いてください
^{たが}互いに^{そんけい}尊敬する^{ところ}心を与え、ともにすべての^{ひと}人の^{さいわ}幸
^{もと}いを求めさせてください

会衆 主よ、お聞きください

<隣り人のため>

代祷者 ^{かみ}神よ、わたしたちと^{かぞく}家族、すべての^{ゆうじん}友人と
隣^{とな}り人、ことに、

日々を共に暮らし、また離れて暮らすそれぞれの
家族、友人、同僚、心にかけている人びと、聖ア
ンデレ教会に連なるすべての人びと、ボーイスカ
ウト東京港第14団、ガールスカウト東京都第138
団、入信を希望している人びと、洗礼、堅信、初
陪餐、結婚の準備をしている人びと、さまざまな
理由によって教会から離れている人びと、この地
域で生活し、働いている人びと、生命（いのち）の
問題、困難な人びとを支える働きに関わる人びと、
10月の代祷・信施奉獻先となっている働き・団体、
ことに、野宿生活者支援（浅草聖ヨハネ教会日曜
給食活動、笹島キリスト教連絡会、聖公会野宿者
支援活動・渋谷）、薬物依存リハビリ支援施設（（特
非）東京ダルク）、小笠原諸島における宣教拠点
（10/17 教会創立記念日・小笠原聖ジョージ教会）、
教役者緊急援助資金（10月第3主日 10/19・東
京教区教役者緊急援助資金）、社会事業の日（特
定25 10/26 総会決議）

に^{あた}恵みを与え、ともに^{しゅ}主を知り、^し主に^{しゅ}仕え、^{たが}互いに
^{あい}愛することができるようになってください

会衆 主よ、お聞きください

<お知らせ>

<困難な状況にある人のため>

代祷者 神よ、悩む人、悲しむ人、病氣の人、貧しい人、その他災いの中にある人びと、ことに感染症の収束のため

[病床にある人・自宅療養中の人・別紙参照]、
世界各地の震災の被災者、
世界各地の自然災害の被害のため困難な状況にある人びと、
住む場所を追われた人びと、
自由を奪われ拘束されている人びと、

戦争や暴力、犯罪や差別に苦しむ人びと
を顧み、み力を与えて、勇氣と希望を増し加え、
主の救いの喜びに導いてください

会衆 主よ、お聞きください

<逝去者のため>

代祷者 神よ、世を去ったすべての人、ことに
それぞれが覚える逝去者

[今週逝去の記念日を迎える人(=別紙参照)]

暴力や犯罪、災害の犠牲となった人
を顧み、彼らの上に主の愛のみ旨を成し遂げてくだ
さい。わたしたちは、世々に主の証人たちに与えら
れた主の恵みのゆえに、み名をたたえます。どうか、
わたしたちも、彼らとの交わりを保ち、ともにみ国の
栄光にあずからせてください

一同 主よ、これらのことをみ子イエス・キリスト
によってお願いいたします アーメン

◇ 先主日、”2025 アンデレチャリティーバザー”が
楽しく無事に終了しました。皆さまのご参加・お
働きに感謝します。 これからも聖アンデレ教会
は神と人々に愛される聖アンデレ教会を目指し
ていきます。

◇ 聖アンデレ教会の青山墓地礼拝が11月1日(土)
14時から行われます。

教区墓地礼拝は11月1日(土) および3日(月)
に行われます。

聖堂受付に案内はがきがあります。

◇ 9月・10月のBSSACは、教会行事および礼拝
の都合によりお休みとなります。11月定例会は、
11月2日午後1時半からです。

◇ 教会敷地内の安全確保と無断駐車防止のため、
駐車カードの使用を再開しました。車で来会さ
れる方は、聖堂受付にてお取りいただき、駐車
の際には、よく見えるところにご提示ください

礼拝参加にあたって

※礼拝は教会ホームページより動画配信されています。

(映像に映りたくない方は、その旨お伝えください。)

※手洗い場や消毒液をご活用ください。マスクの着用をおす
めしますが、状況・体調等に応じて各自ご判断ください。

※聖卓のろうそくの点灯中、礼拝前後(10分程度)は黙想の時間
です。聖堂内で静粛に、会話や挨拶もお控えください。

※礼拝中の席の移動はお控えください。平和の挨拶もそれぞれ
の席からいたします。

※献金・信施は、礼拝中にまわってくる献金袋に、または受付
台付近の献金箱におさげください。

※聖餐式での陪餐の際、案内に従って中央通路を左右2列で聖
卓に進みます。洗礼を受け、陪餐の許しのある方は、口また
は手のひらで分餐奉仕者からパン、またはぶどう酒に浸した
パンを受けます。

また祝福を希望される方も同様に進みます。

※聖公会以外の教会で洗礼を受けて、聖餐に与っている方の陪
餐(聖体拝領)を許可し歓迎します。

※陪餐後は、席に最も近い通路部分を通って席に戻ります。

※聖堂内での移動が難しい方、配信に映りたくない方は、分餐
奉仕者がお席あるいは聖堂後方まで参りますので、遠慮なく
お知らせください。

※体調や気分の不調のとき、また何かわからないことなどあり
ましたら、遠慮なく受付案内の係までお声かけください。

◇ 2026年聖公会手帳・カレンダー等 ◇

購入ご希望の方は、所定の封筒に代金を入れてお名前
と部数をご記入の上、教会の「申し込み箱」にお入れ
ください。代金はおつりのないようにご用意くださ
い。締め切りは11月9日です。

オンラインショップ “バイブルハウス青山”

<http://biblehouse.jp/> 電話：03-3567-1995

では「日本聖公会」とキーワード検索をしますと聖公
会関連のものが表示され購入手続きができます。そち
らもご活用ください。

聖アンデレ教会広報チャンネルでは、様々な情報
を配信中です。また、フェイスブックページから
折々の教会の様子やお知らせをお伝えしていま
す。下のQRコードからご覧ください。



広報チャンネル



インスタグラム



ホームページ



Facebook

本日・今週の予定

10月26日(日) 聖霊降臨後第20主日(特定25)

7時半 聖餐式
9時15分 こどもとともにささげる礼拝
10時半 聖餐式
17時 夕の礼拝

・愛餐会 ・13時 聖歌隊練習 ・13時半教会委員会

27日(月) 7時半礼拝

ロマ8:12-17 詩68:1-6,20 ルカ13:10-17

卓司祭在室(午後)

28日(火) 使徒聖シモン・使徒聖ユダ日 7時半礼拝

申32:1-4 詩119:89-96 エフェ2:13-22 ヨハ15:17-27

卓司祭在室(午後)

29日(水)

ロマ8:26-30 詩13 ルカ13:22-30

30日(木) 7時半礼拝 高橋主教

ロマ8:31-39 詩109:21-27,30-31 ルカ13:31-35

10時半 葬送告别式(外部で)

31日(金) 7時半礼拝

ロマ9:1-5 詩147:12-20 ルカ14:1-6

11月1日(土) 諸聖徒日 7時半礼拝

シラ44:1-10,13-14 詩149 黙7:2-4,9-17 マタ5:1-12

14時 青山墓地礼拝

2日(日) 諸聖徒日 [聖霊降臨後第21主日は
諸聖徒日の特祷と聖書日課を用います]

7時半 聖餐式
9時15分 こどもとともにささげる礼拝
10時半 聖餐式

シラ44:1:10,13-14 詩149 黙7:2-4,9-17
マタ5:1-12 聖歌205,569,495,262,391

15時45分 昼の祈り 聖歌391,205,神の家族
17時 夕の礼拝 聖歌531
詩8,84 シラ36:1-22 ルカ12:22-31

・愛餐会
・13時 受付・アッシャー クリーンデイ
・13時半 BSSAC 定例会

今週のメッセージ

このたとえ話は、ルカによる福音書のみが採録しているエピソードになります。聖書では先週の「やもめと裁判官のたとえ」のすぐあとに置かれています。「やもめと裁判官のたとえ」は、倦まず弛まず祈ることの大切さを弟子たちに教えるために、イエス様がお話しになったたとえ話とされています。

今日の福音書はさらにイエス様が「自分は正しい人間だとうぬぼれて、他人を見下している人々」のことも意識しつつ語られた教えということになっています。

福音書を読むと、多くの場面でイエス様の時代のユダヤ教の宗教指導者たちが、厳しく戒律を守って「真面目な」宗教活動をしていることを自負している姿が描かれています。おそらく、イエス様はそんな宗教指導者たちを冷ややかにご覧になっていたこともあったのではないのでしょうか。神のお喜びになる、生き生きとした信仰活動は、そんなしかつめらしい信仰の有り様や、他者との比較で現されるものではないのに…、と眺めておられたかもしれません。そこで、この「ファリサイ派の人と徴税人のたとえ」を持ち出されたのではないのでしょうか。

確かに宗教的戒律に照らせば、ファリサイ派の人の信仰生活は「曇りのない宗教的生活」であったかもしれませんが。対して徴税人は、その生業がすでに異教徒かつ圧制者であるローマ帝国に依存するものであり、ユダヤの同胞たちから忌み嫌われ、宗教的にも蔑まれていました。ファリサイ派の人は神の前に自信満々に「神よ、私はあなたの前に曇りない信仰生活を送っております!」と報告します。一方、徴税人はひたすら自分の罪を悔い改めるばかりで、目を上げることもすらできません。宗教的にも社会的にも真っ当な生き方をもてず、徴税人は神の前に恥じ入っているのです。本当なら非の打ち所のない信仰生活を送りたい、でも生きていくためにはやむを得ない所業だったのかもしれません。この人はそれをよくわきまえていて、そんな自分を神の前にそのままの形で差し出すしかなかったのです。

確かにファリサイ派の人は正しく信仰生活を送っていました。けれども自分の信仰の有り様を他者と比較し、他者を見下した態度をとりました。これがこの人の欠けている部分だ、とイエス様は指摘されます。

信仰とはそもそも他者との比較の中で語られるものではなく、また、戒律を正しく守れない者を裁いてよいというようなものでもない、とイエス様は語られます。さらに、この人には神の前に「自らを悔い改める姿勢」が欠けていることをイエス様は指摘されるのです。神がまことに喜ばれるのは、神の前に自分を誇るものではなく、シラ書も語るように神の前に真実に謙虚に心を開くものであり、そのような心砕けた信仰の有り様が、人を神によるまことの救いへと導くものなのである、とイエス様は教えて下さっているのです。

(執事 佐久間恵子)